

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：MIRAio新横浜	種別：地域型保育事業（居宅訪問型保育事業除く）	
代表者氏名：岡本 千寿子	定員（利用人数）：19名	
所在地：〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-1 2-4 エクステ新横浜1F		
TEL：045-620-7510	ホームページ：http://www.miraio.net/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2015年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：ドットファーム株式会社		
職員数	常勤職員：7名	非常勤職員：7名
専門職員	（専門職の名称）：名	幼稚園教諭：8名
	保育士：11名	看護師：1名
	栄養士：2名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室1室	調理室
	乳児室1室	調乳室兼沐浴室
		医務室兼事務室
		幼児用トイレ

③理念・基本方針

<理念>

家庭を応援し、心地良く生き生きと幸せな環境で子どもの豊かな未来を育むために、園児ひとりひとりをしっかりと見つめた保育を行い、子どもたちの成長を保護者様とともに喜び分かち合う。

<基本方針>

1. 当園は、良質な水準かつ適切な内容の保育・教育の提供を行うことにより、全ての子どもが健やかに成長するために適切な環境が等しく確保されることを目指す。
2. 保育・教育の提供にあたっては、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進するため、子どもの意思及び人格を尊重して保育・教育を提供するよう努める。
3. 当園は、子どもの属する家族及び地域との結び付きを重視した運営を行うとともにその支援を行い、都道府県、市町村、小学校、他の特定教育・保育施設など、地域の子ども・子育て支援事業を行う者、他の児童福祉施設その他の学校または保健医療サービスもしくは福祉サービスを提供する者との密接な連携に努める。
4. 児童福祉法、子ども・子育て支援法、その他関係法令などを、厳守し、保育所保育指針及び保育課程に沿って、乳幼児の発達に必要な保育・教育を提供します。

<保育目標>

- 健康で明るい子ども
- 友達と仲良く遊べる子ども
- 心豊かな子ども
- 意欲と思いやりのある子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

<MIRAIo新横浜の特徴的な取り組み>

- ひとりひとりの個性を大切にし、より良い応答性のある環境・きめ細やかな関わりが出来るように職員配置を手厚くしている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年08月25日（契約日） ～ 2022年02月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

【MIRAIo新横浜の概要】

●MIRAIo新横浜は、ドットファーム株式会社（旧社名：有限会社PRESTO MIRA COMPANY）（以下、法人という）が運営しています。法人は、2006年の設立時より、現在地において認可外保育所、学童保育所を運営していましたが、港北区役所から小規模保育事業運営の働きかけを受けたのをきっかけに、2015年4月、同施設内に小規模保育事業MIRAIo新横浜を開設しました。開設にあたっては、認可保育所としての要件を満たすために、厨房を新設する等の整備を行いました。開園後数年間は、MIRAIo新横浜と学童保育所とで施設を共用する形でしたが、2020年3月に学童保育所の営業終了に伴い、現在は、施設内の全域をMIRAIo新横浜で使用しています。そのため、面積が広く、ロビー、廊下、トイレ等もゆったりしています。さらに、イベントなど多目的に使えるスペースや、事務室、職員休憩室等、専用で使えるスペースが複数あるのが特長です。

●MIRAIo新横浜は、東海道新幹線、JR横浜線、横浜市営地下鉄ブルーライン各線の新横浜駅から徒歩8分程度の所に位置しています。園が入居している建物は、SRC構造15階建てのマンション「エクステ新横浜」（住居80戸。公益財団法人東京労働者福祉厚生協会が所有。1999年2月竣工）で、その1階部分に入居しています。建物は太尾新道に面しており、また、80m南には環状2号線が通り、西側には横浜アリーナがあります。総体的に自動車交通量の多いエリアですが、他方、歩行者については、横浜アリーナのイベント開催時においても、建物の周囲に人が溢れるといった光景は見られません。新横浜駅周辺とはいえ、地元住民を含めても人の通行は多くないエリアと言えます。

◇特に評価の高い点

1. 【職員が「働きやすい」と感じる保育園】

●働きやすい職場、長く働き続けられる職場として一番大切なことは、「職員が、年齢の上下、在職期間の長短に関わらず、自由に思いを発言できることである」と園長は認識しています。そのため、園長は、会議等では、各職員に発言を促すと共に、職員の発言をしっかりと傾聴するようにしています。また、職員も、他の職員の振る舞い等について、気づいたことがあれば、アサーティブに伝えると共に、指摘された職員も、率直に受け止め、振り返るきっかけにする、という心構えを定着させています。さらに、職員間での議論も不完全燃焼せず、後に気がかりとしないよう心がけています。こうした風土、雰囲気、園長は、2015年の開園以来、MIRAIo新横浜で定着するよう尽力して

きました。今では、全ての職員がこの雰囲気大切にしており、MIRAio新横浜の特長であり、職員は誇りを持って働いています。

2. 【小規模保育ならではの、一人ひとりの子どもに目がいく保育】

●MIRAio新横浜は、0歳～2歳児を預かる小規模保育園ですが、少人数を生かし、一人ひとりの子どもとの関わりを深く、愛着を持って接することを心がけています。保育士は、担当クラス以外の園児についても全て把握しており、クラス会議も担任でなくとも他保育士も時間があれば加わり、一緒になって話し合うのが通例になっています。子どもたちは、クラス担任との愛着関係の上に、さらに他の保育士からも温かく見守られ、園全体で一人ひとりが守られているという安心感を抱き、第二の家庭として安定した穏やかな心が育まれています。

3. 【連絡帳を活用した双方向コミュニケーション】

●連絡帳は、多くの保育園で活用されている、保育中の乳児の様子を保護者に伝えるツールです。MIRAio新横浜では、この連絡帳に保護者が記入する箇所を広く設け、日々、保護者にも記入を依頼することで、双方向のコミュニケーションツールとして活用しています。保護者に対しては、(1)朝食、夕食、起床・就寝の時刻、(2)家庭での子どもの様子、(3)質問等、を記入してもらい、登園時に預かります。保育士は、連絡帳から子どもの昨日の家での過ごし方を把握すると共に、保育士記入欄には、園での様子をたくさん書き込みます。また、質問欄に記入があれば、必ず回答を記しています。降園時に返却しますが、口頭でも子どもの様子の情報交換を図り、帰宅後でも確認することができ、保護者へ安心と信頼を提供しています。日々書き込まれていく連絡帳は貴重な子どもの成長記録となっています。

◇改善を求められる点

1. 【人材募集方法の工夫】

●MIRAio新横浜では、人材確保及び人材育成について事業所として、そして、企業経営上の課題であるとしています。人材確保については、(1)ハローワークや求人情報サイトへの登録、(2)就職説明会への参加、(3)職員に対する紹介の呼びかけ等、複数の方法により募集活動を行っています。しかしながら、中々応募に確かな手応えがないことを踏まえ、より応募を増やすために横浜市が推奨する保育所等の紹介情報サイト「えんみつけ」を活用しています。「えんみつけ」では募集要綱に加え、保育園の理念や特長、1日の働き方、先輩保育士の声、研修体系、キャリアアップの仕組み等を、写真、動画、図表等を使って紹介をしています。さらに、子どもの手が離れ、キャリアを生かそうと考える年配者については、PCやタブレットを持っていない、インターネットを見ないという方を視野に入れ、新聞折込求人紙による告知方法に効果が見られると考えます。また、保育士資格がなくても子育ての経験者であれば応募できる、清掃、片付け、消毒等の様々な作業を担ってもらうパート、アルバイトとして募集するのも一案であり、その後、保育士資格の取得を支援する等、正規職員へとつながる可能性も考えられます。それにより、保育士にゆとりが増えれば、外部研修等もより受講しやすくなり、ひいては人材育成につながり、職員の定着にも安定が見いだされます。ご検討を期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：MIRAio新横浜

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

第三者評価受審に向けた学びを通し、良かったことは、職員一人ひとりが理解していな

かったこと・目を向けていなかったことに対する「気づき」が持てたことです。そして、グループの話し合いと同時に、人権擁護のためのセルフチェックを活用しながら、子どもに対する姿勢、そして保育園の役割・運営について意識も高まったと思います。

今回いただいた評価に対し、良いところは継続しながら改善点については園全体で共有し、利用者・地域との信頼関係をさらに構築するためにも質の向上を目指し努めてまいります。

初めての受審でしたが、当園の良い点も多く引き出していただいたことで自信につながることができました。ありがとうございました。

<評価後取り組んだ事として>

1. 人材育成のための組織づくりとチームワークの強化
2. 受審を通し、課題となっていることを振り返り、保育環境整備の見直しを行っている
3. 保育の内容について、子どもへの関わり・配慮が足並み揃えられるようミーティングを重ね実践し、都度見直しを行っている。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり